

おうちのかた  
必見!

# お子さまの 知力を伸ばすための スタートは、いつ?

「おべんきょう」  
って、いつ  
はじめたら  
いいの?

考える力の  
ある子に  
育ててほしい

はずかしがりやで  
私から  
はなれない

最近、  
言うことを  
聞いて  
くれない

友達を  
ほしがって  
いる

家で私が  
教えられるし…

がんで…  
すぐケンカ  
しちゃう

なぜ?  
どうして?  
と、聞くように  
なった

何に興味を  
持っているか、  
まだ  
わからない…



年少の今が、  
スタートのチャンスです!





# 見逃していませんか？ お子さまのやる気



こんなサインがあったら、  
学びのスタートを考える時期かも

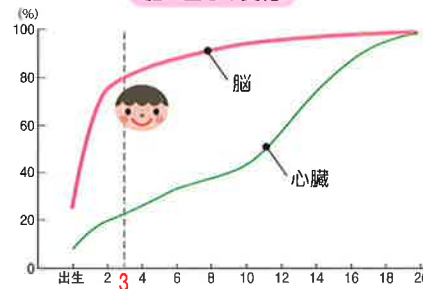
Check!

- 急におしゃべりになった
- 「これなあに？」と聞いていたのが、「なんで？」「どうして？」と聞くようになった
- お友達との関わりがおもしろくなってきた
- 興味の幅が広がっているみたい
- 自分のことを自分でやろうとする場面が見られる



## 年少期はターニングポイント

脳の重さの変化



言葉の数の変化



知能の発達と並行して、幼児は驚くべき速さで言語を習得していきます。2歳で約 300 語、3歳で約 900 語、4歳で何と約 1700 語。いうまでもなく、言葉に興味を持つ時期に豊かな言葉に触れることで、この成長はさらに飛躍的になります。

また、脳は、生まれてから急激に発達し、3~4歳で大人の 90 パーセントの重さを持つまでになり、脳の多くの部分が形成されます。

一方で、幼児期にはわがままも出やすくなります。しかし、これは「自己」という概念が育ってきていることの表れ、つまり脳が発達してきたあかしといえるのです。

脳の発達が著しいこの時期に、見る・きく・話す・動かす……などの多様な経験ができる環境を作ってあげたいと考えています。

ちえ



かたち

三角形や四角形、円形などの形の磁石を操作して、造形遊びをします。年少児には高度な課題ですが、この時期に出会わせてあげたい内容です。



図形構成力・比較力・創造力を育てます。  
また、小学校の算数での図形の理解につながります。

なにかなカード

言葉の豊富な子どもになるよう、動物・虫・食べ物・道具など 161 枚のカードを使います。



もじ・ことば



知識や語い力、文字を見分ける力を養います。  
文字の読み書き、読解、作文の理解につながります。

かず



数字マット

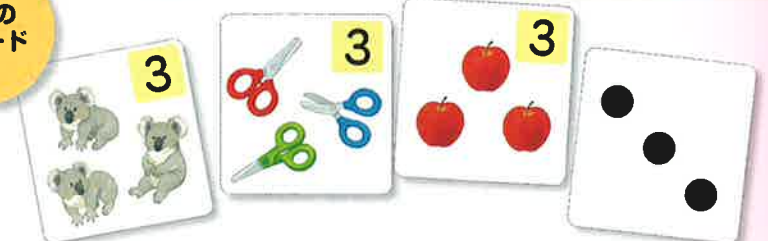
数回・数字  
さいころ



紅白玉



かずの  
絵カード



さまざまな教材を使うことで、  
数を段階的に楽しく理解します。

数をかぞえたり、作ったり、比べたりする経験を積みます。  
数の概念の理解につながります。



# 幼児教室は「まだ早い」と 思っていないですか？



## 今がスタートの時期！

「まだ園に入ったばかりだから…」 「日常生活の習慣を身につけるだけで十分なのでは…」 と思いかたはいらっしゃいませんか？ 学研幼児教室プレイルーム年少クラスでは、年少のお子さまの現在の状況をふまえて指導にあたります。先述のとおり、脳は3～4歳で、大人の90パーセントの重さを持つまでに発達することが実証されています。しかし、重さのみが重要なものではありません。適切な栄養として「知的刺激」を与えることで、脳細胞をつなく回路が丈夫に、太く生え、後々の学力に大きく反映されるのです。つまり、「やるなら今！」なのです。



## 豊富な教材が、魅力です

学研幼児教室プレイルームは、頭だけで考える「ペーパーワーク」主体の教室ではありません。学研独自の、豊富な教材を使った楽しい「遊び」を通じて、「手を動かして考える」「体で覚える」経験を積みます。飽きることなく、遊びながら「もし・ことば」「かず」「ちえ」の力を伸ばしていくことができます。



## プロの指導者・ やる気のあるお友達と一緒に…

学研幼児教室プレイルームの指導者は、学研教育総合研究所に資格を認定されたプロの指導者で、月に一度の研修などで研鑽を積み続けています。

また、学研幼児教室プレイルームの大きな特長として、“集団学習”があります。お子さま一人ひとりが先生やお友達と楽しくふれあい、刺激しあいながら学習することで、「身についた」学力を育てます。さらに、集団行動の基礎やコミュニケーションの力も培うことができます。



ちえ

おやくそく  
カード

毎回の指導の始めに「きょうのおやくそく」として、この時期に身につけて欲しい基本的な生活習慣や安全などについて考えます。



おふるだいすき  
こしこし  
じやぶじやぶ



あはらはん  
しっかりたべて  
だいかつやく

生活習慣、社会性、善悪を考える力などを育てます。  
コミュニケーションの力も養います。

構成

課題 空いているところの絵に合うように、シールをはりましょう。



思考力、観察力、図形を見分ける力、  
構成力を養います。  
脳の発達に有効な、手先、指先の巧緻性を育てます。

ききとり

お話

- ①私は、傘をさしています。
- ②私は、ズボンをはいています。
- ③私は、長靴をはいています。



課題  
私は誰でしょう。  
○にシールをはり  
ましょう。

コミュニケーションの力、  
きいて理解する力、集中力を育てます。  
記憶力、思考力、判断力も養います。

絵合わせ



注意力・観察力・  
図形合成をする力を育てます。  
ケーキ作りや、水族館の絵など、  
さまざまな絵柄で年少児をひきつけます。



# 迷っていませんか？ 何をさせたらいいの…？



年少期のお子さまの脳は、大人が驚くほど多くのことを吸収します。いわゆる「知能」全般が育つのがこの時期です。この時期に脳に適切な刺激を与えることでそれからの脳の発達が決まるといってもよいでしょう。また、手は脳とつながっている神経細胞が多く、「第二の脳」とさえよばれています。学研幼児教室プレイルームでは、手指を動かす操作教材で脳に刺激をあたえ、長年の経験に基づいて制作したペーパーワークで、学習の効果をよりアップさせます。



## 豊かな言葉が、全ての基盤に

言葉の力を育てることが、読解力や、作文を書く力を育てることにつながります。学研幼児教室プレイルーム年少クラスでは、「言葉」を中心に学び、言葉の力の基盤を築くことを目的としています。そのため、「言葉」を意識して文字を学んでいきます。また、いろいろな「言葉あそび」を繰り返し経験させる「スパイラル学習法」を取り入れ、より深く知識が定着するようにしています。



## 数は知っているだけでなく、 「経験から習得すること」が大事

「数字が読めること」と「数唱（数を唱えられること）」で満足されていらっしゃいませんか？ 実は、「数」を理解するためには、それだけでは全く足りないのです。「数」を理解するためには、具体的な経験から習得した「考え方」が必要となります。学研幼児教室プレイルームでは、紅白玉、さいころなどの教材を使って、「数」を具体的に体験し、理解します。この経験が、後の小学校での算数の理解に不可欠なものになるのです。



年少での経験が、年中、年長での成長へとつながっていきます。

年長

年中

年少





「教育の学研」が、年少のお子さまに向けて開発した教材を使った教室です。  
やがて来る小学校入学に向けて、一貫した幼児教育をはじめてみませんか。



※開室月によって使用教材は異なります。 ※教材の色・デザインは変わることがあります。

## 学研幼児教室プレイルーム 入会のご案内

- **教室要項**
- 1回の指導時間：60分
- 定員：1クラス15名前後（開室は、1クラス最少6名より）  
※進級時に、5名以下となった場合は、継続できない場合があります。
- 入会金：6,000円（税別）
- 月会費：年少 5,000円（税別）  
年中・年長 6,000円（税別）  
※教材費はいただいております。

**特典1** 学研幼児教室会員の兄弟・姉妹のかたは、  
当教室の入会金が免除されます。

**特典2** プレイルームを修了し、小学生対象のスタディールームが  
開設されている場合は、スタディールームへの入会金は免除されます。



● お問い合わせ 株式会社 学研教育みらい 教室本部

〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8

☎ 0120-113-344

<http://www.gakken.jp/playroom/>

学研プレイルーム で検索